

平成 26 年度 水俣市環境スタディーツアー 受入・対応 報告書

平成 26 年 8 月 27 日

宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)では、宇部市環境政策課と共に熊本県水俣市より『環境スタディーツアー』の一行を受け入れて、2泊3日のスケジュールで宇部市の環境関連のさまざまな事柄を学んで頂く事業を推進しました。本報告書はその対応諸業務の概要を報告するものです。

1. 受入日時

日時 : 平成 26 年 8 月 6 日(水)~8 日(金)

2. 水俣市のツアー者

引率者 : 水俣市環境モデル都市推進室 鎌田次長、川野主査

ツアー参加者 : 合計 12 名の中学生(市内各中学校(4 校)より 2~4 名の参加)
男子 4 名、女子 8 名
(ISO 委員やその他の委員を中心に選任された模様)

3. 受入側対応者(敬称略)

宇部市環境政策課:谷口副主幹、岡本係長、荒木課員

UNCCA : 太田

水俣ファンクラブ : 池田、藤井

ふるさとコンパニオン: 脇、大塚

山口大学 : 柴川、立川

まちづくりサポータ : 椿、江嶋

交流会参加者 : 合計 13 名市内各中学校(常盤、上宇部、神原、桃山、厚南、小野、川上、楠、西岐波、黒石)より 1 名、藤山中より 2 名の中学生、桃山中より教員 1 名

4. スケジュール・旅程概要

スケジュール・旅程は、概略以下の日程で実施された。

| | | |
|------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8 月 6 日(水) | 13:20 | 水俣市一行、水俣観光バスにて常盤公園東駐車場に到着 (受入側全員で出迎え) |
| | 13:25 | スタディーツアー開始宣言 |
| | 13:30 | 宇部市長による歓迎の挨拶 |
| | 13:40 | 2 班に分かれて電気自動車に乗車し、以下の順路でときわ公園内 におけるスタディーツアー開始 風力発電設備→ミニ動物園巡回→えさやり体験→石炭記念館 屋外彫刻観賞→石磨き体験 |
| | 16:00 | ときわ公園出発 |
| | 16:30 | 宇部興産本社到着・竹下社長と面談 |
| | 17:00 | USパワー社のメガソーラー発電設備説明聴取及び現場見学 |
| | 18:00 | 宿舎(ココランド)到着 |
| | 18:30 | 夕食(バーベキュー) |

8月7日(木) 産業観光ツアー／大人の社会派ツアーの《セメントの道》のほぼ逆ルートを辿り、以下の時間割で見学した。

9:00 宇部興産(株) UBE-i-Plaza 見学
(宇部興産工場群、宇部興産大橋、宇部興産道路を經由して)
10:00 ダブルス・トレーラー整備場見学
10:50 伊佐セメント工場及び採石場見学
12:00 昼食
13:20 秋芳洞 入場・見学
14:50 秋吉台展望
15:00 秋吉台科学博物館見学(化石採集体験)
16:30 帰路へ
18:00 ココランド到着

8月8日(金) 8:30 ココランド出発
(宇部市職員、UNCCA 職員 見送り)

・第1日目の主な行動・出来事

- ① 宇部市長臨席の上、ときわ公園(湖水ホール)にて、受入・歓迎のミニ式典が開催され、久保田市長より“おもてなしのこころ”による歓迎の挨拶が述べられると共に、スタディツアー事業推進の経緯や意義についての説明があった。
- ② 式典後、宇部側から参加した中学生も交え、2班に分かれて電気自動車に乗車し、ときわ公園内の巡回ツアーが行われた。
風力発電設備の説明では、奇妙なレンズのついた見慣れぬ形状に驚きつつも、その機能の解説を聞いて感心しました。また、太陽光発電と共に再生可能エネルギーの普及に取り組む姿を学びました。
- ③ ミニ動物園の見学では、時間の関係上、バック・ヤードを見学する事が出来ませんでした。カピバラ、チリーフラミンゴ、エリマキキツネザルなどの生態を間近に見る事が出来ました。また、動物園リニューアル推進室の飼育担当係の案内で、恐る恐るおさるさんへの餌やりも体験しました。
- ④ 石炭記念館では宇部の歴史に深い関わりのある石炭の話を聞きながら、関係施設の一巡して見学し、展望台でときわ公園や宇部のまち全体の眺望を楽しみました。
- ⑤ ときわミュージアムではふるさとコンパニオンの方々から『蟻の城』や今年のビエンナーレ展で大賞(宇部市賞)を受賞した『Our Love』、宇部興産株式会社賞受賞の『サイン』などの解説を受けて、緑と花と彫刻の博物館賞受賞作の『じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった』という彫刻作品の鼻の穴を順番に覗き込んで観賞しました。
- ⑥ 休憩時間には特設されたよしずの下でまちづくりサポーターやその他のの方々による冷たいお茶と宇部元気ブランドのゼリーの接待を受けながら、彫刻を模した石磨き体験をしました。
- ⑦ 宇部興産では郷土の大先輩である竹下社長と面会する事が出来ました。参加した中学生の皆さん方から思い思いの幅広い質問が飛び出しましたが、竹下波長は夫々に丁寧にて応えておられました。面談終了後、電力ビジネスユニットの小山部長よりメガソーラーの説明

を受けて、その後、竹下社長を囲み、興産の玄関前で記念写真を撮影しました。

- ⑧ 撮影後、藤曲地区に設置された US パワー社のメガソーラー発電所を見学し、一般家庭の約 6,900 世帯分を賄えるという 20 メガワットの大きさを目の当たりに見ました。
- ⑨ 第 1 日目のすべての見学・学習を終え、宿舎の夕食はバーベキューとなり、宇部側の有志参加者も加わり、和やかな懇親の場が繰り広げられました。



湖水ホール到着・歓迎の様様



湖水ホールにて久保田市長と共に



電気自動車での園内移動風景



おさるさんへの餌やり



宇部興産玄関前にて竹下社長を囲んで



宿舎での楽しいバーベキューの夕食

第2日目の主な行動・出来事

- ① 第2日目は宇部興産㈱のUBE-i-Plazaの見学からスタートしました。
プラザでは“宇部方式”で公害を克服して『みどりと花と彫刻のまち』になった宇部のまちの歴史や石炭産業から総合化学企業へ変身した宇部興産の歴史を学び、“共存同栄”という言葉の意味も学習しました。
- ② プラザを出て、宇部興産の化学工場、セメント工場、発電所、コールセンターなどの工場群を車中からゆっくりと見て回り、セメントキルンの熱さや工場の大きさに驚きながら宇部興産大橋を渡り、企業のスケールの大きさに再び驚きました。
- ③ 大橋を渡り、宇部興産道路に入り、すぐにダブルス・トレーラーの整備場を見学しました。
ここで、宇部興産道路をセメント原料や石炭を積んで行き交う70トン積みダブルス・トレーラーの説明を受けました。その後、トレーラーの運転席に試乗したりして、最後にトレーラーをバックにみんなで記念写真を撮りました。
- ④ 整備場を出て、宇部興産道路を時速70kmでひた走り、伊佐セメント工場に到着。
工場案内者と共に、車中からセメント工場内を見学し、最後にセメント原料である石灰石の採石場を見学しましたが、今迄見たこともないようなスケールの大きさに驚嘆しました。
ここで、見学記念の石灰石を拾うとともに採石場をバックに記念写真を撮影しました。
- ⑤ バスは工場を出て一路秋芳洞へ向かい、秋芳洞バスセンターに着き、レストランで昼食をとりました。昼食後のわずかな自由時間を利用して、皆さんは折角ここまでできたのだからと、お土産のショッピングも楽しみました。
- ⑥ 秋芳洞では、前々日及び前日の雨天で洞内の地下水や地表からの漏水は多く、足場が濡れて危険であるとして、楽しみにしていた秋芳洞冒険コースの見学は中止となり、一般コースのみを見学する事になりました。それでも、鍾乳洞を初めて見学する皆さんには日本一の秋芳洞は大きな魅力で、蒸し暑い真夏の午後を17℃の冷氣ともいえる気温の中、百枚皿、千町田、黄金柱、などの名の付いた風景に自然の不思議を目の当たりにして、目を見張りました。また、洞内専門ガイドさんの案内で、一般には表示、案内の出ていないパワースポットを教えて貰い、一周すれば寿命が1年延びるといふ言い伝えを信じて、順番に一周し、中学生ではあるけれども長寿を祈りました。
- ⑦ 秋芳洞を黒谷口に抜けて、秋芳台展望台に行き、今迄見学して来た地下の地表部分（カルスト台地）を脳裏に収めて、秋吉台科学博物館に向かいました。
- ⑧ 博物館では、秋芳台の地質や地形の成り立ちを学ぶと共に、自分たちの手で実際に石を割って化石採集の体験をし、シダ類や巻貝類の化石を見つけて記念に持ち帰りました。
- ⑨ 今回のスタディツアーにおいては、参加した中学生の皆さんも慣れない集団の旅で緊張している上に、2日間に渡り、炎天が続き、かなり疲労が溜った様です。博物館での作業中に、熱を出して気分が優れない人が出ましたので、急遽、近隣の診療所に駆け込み治療を受けました。
熱中症や下痢・食中毒などに十二分に留意してツアーを進めて来ましたが、軽症だったとは言え、少し残念な結果になりました。



UBE-i-Plaza にて



トレーラー整備場にて



伊佐セメント工場採石場にて



秋芳洞入口にて



秋芳洞内にて



出発前の宿舎前 記念写真



秋吉台科学博物館にて化石採集の説明

第3日目の主な行動・出来事

- ① 宿舎ロビーにて水俣市ツアー参加者の代表がお礼の言葉を述べ、見送りに来ていた受入側の代表者が答礼の言葉と見送りの挨拶を行いました。
- ② バスは様々な思い出を抱えた参加者を乗せて宇部を離れ、一路水俣市に向かい、本年度の水俣市環境スタディツアーの受入業務が終了しました。